

紙グラフィ



私は卒制でなにをしたいのか？

＝一番は今年自分の中で好きになった

本のタイポグラフィ（デザイン）

を、やりたいと考えた。

どうしてだろう？と考えた時

もともと私は本が好きで、小説家になりたかった。

しかし親の反対もあり小説家からデザインをしたいと考えるようになった。

ただ知識も特になく当時の私の考えは本のイラスト一択の考えしかなかった。

ここから来ているのだと思う。

本のタイポグラフィをやりたい思ったのはこの歳になってからである。

しかも三年生の夏頃になってからである。

あまりにも遅い答えになってしまったのは、自分自身が何を楽しいかどうかわかっていなかったからだと考えている。

私がこうなった原因にあるのは SNS で本の表紙について楽しそうに語る人に
出会ってからだ。

本の表紙を「見ること」が好きだと気づいたこと、

たまたま授業で本のロゴ制作をすることが楽しいと気がついたのも
ある人のおかげである。

こうしてめでたくやりたいことが決まったが問題は

本のタイポグラフィをやるとしてどう表現するのか？と

本の表紙をやるとしてタイトル等はどうするのか？である。

1. 音を使って映像でタイポを作成する（既存のタイトルを自分の考えたタイポで製作する）
2. タイポを立体物にする
3. 紙媒体で製作する
4. 自分でかなえたかった夢を全部やる（小説から本のデザイン全て）
等が考えられた。

悩んだ

めちゃくちゃ悩んだ。

製作するにあたってこれをやるから何?の答えが見つからないのと、表現方法が一脱したものが見つからなかったからだ。私の中では「ただ本の表紙を作りたい!」の一心で捻り出した答えだったからである。

そのため私自身がこれを制作して何をみってくれる人たちに伝えたいか?

これらを考えなければいけない。

- ・ 本を作ることは楽しいということ
- ・ 本のタイトルと表紙で全く見た印象が違うものになる
- ・ 紙媒体で本を読んで欲しい
- ・ 文字でワクワクして欲しい

これらを全部踏まえると…

『紙媒体で本を読んでもらいたいし、本のタイトルと表紙で全然違う表現になる!

さらに言えばそのタイトルの文字でワクワクして欲しい!』ということだ

(最初に考えていた案は音を出したい!と考えていたが自分のスペースにてBGMとして流せばいいのでは?という結論に至った。)

ここで目についたのが立体文字の3Dアートである。

もともとこの3Dアートは、目の錯覚を利用して何もない紙に浮き上がるように見えるというものである。

これを実際に3Dにしてみたらどうか?と考えた。

①実際にある小説の見開きを置いてそこに小説の文字の一部をタイポグラフィーで立体物として制作し、表現する方法

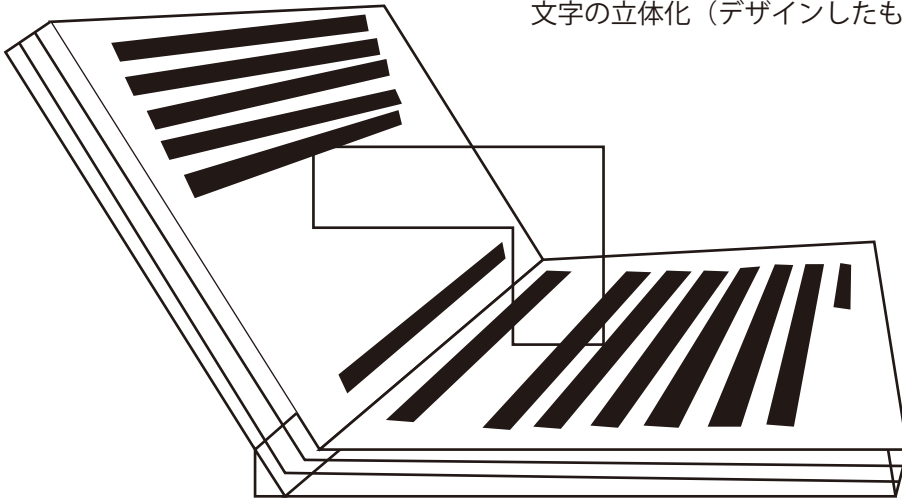
②本の表紙からタイトルを立体物として表現する方法

この二つである。

とりあえずタイポグラフィーを1から勉強しなそう!という形で色々勉強することにした。勉強していろいろ制作したものは後ほど出す。

例1

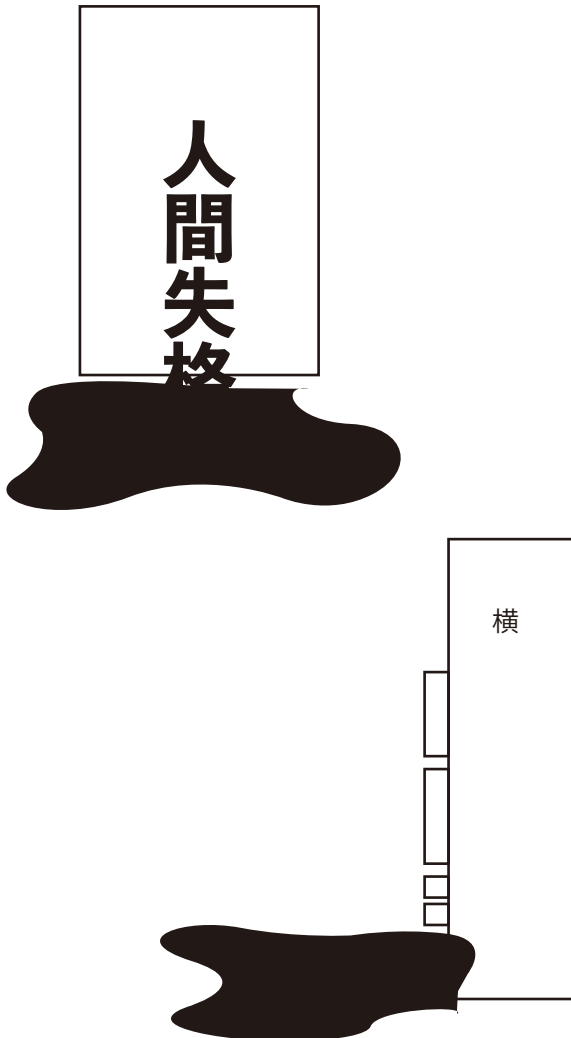
文字の立体化（デザインしたもの）



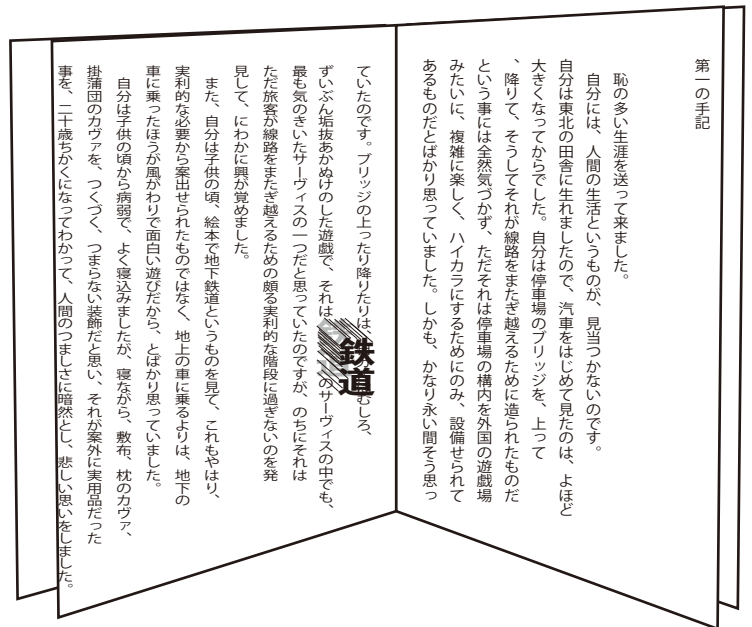
本の立体物イメージ

※これらの浮き上がっている文字はタイポグラフィーになっています

例2



例3



第一の手記

恥の多い生涯を送って来ました。

自分には、人間の生活というものが、見当つかないのです。

自分は東北の田舎に生まれましたので、汽車をはじめ見たのは、よほど

大きくなってからでした。自分は停車場のフリッジを、上って

、降りて、そしてそれが線路をまたぎ越えるために造られたものだ

という事には全然気がつかず、ただそれは停車場の構内を外国の遊戯場

みたく、複雑に楽しく、ハイカラにするためののみ、設備せられて

あるものだとばかり思っていました。しかも、かなり永い間そう思っ

ていたのです。フリッジの上ったり降りたりは、**鉄道**むしろ、

ずいぶん指板あかぬげのした遊戯で、それは、**鉄道**むしろ、

最も気のきいたサーヴィスの一つだと思っていたのですが、のちにそれは

ただ旅客が線路をまたぎ越えるための頗る実利的な階段に過ぎないのを発

見して、にわかに興が覚めました。

また、自分は子供の頃、絵本で地下鉄道というのを見て、これもやはり、

実利的な必要から案出せられたものではなく、地上の車に乗るよりは、地下の

車に乗ったほうが風がわりで面白い遊びだから、とばかり思っていました。

自分は子供の頃から病弱で、よく寝込みましたが、寝ながら、敷布、枕のカワア、

掛蒲団のカワアを、つくつく、つまらない裝飾だと思ひ、それが案外に実用品だった

事を、二十歳ちかくなつてわかつて、人間のつましさに暗然として、悲しい思いをしました。

横

このままだと紙の本を読んでほしい！
という企画自体が倒れてしまう

そこで…

ロゴで製作した紙を頒布するということと、根本は紙の本を読んでほしいという考えの元、コンセプトは違うものにしようと考えました。

感じ方の違いを 味わってもらおう

ロゴの表し方を表現する際に小説の一文と、自分の考えたロゴをZ折りリーフレットとして制作する。(頒布用として)

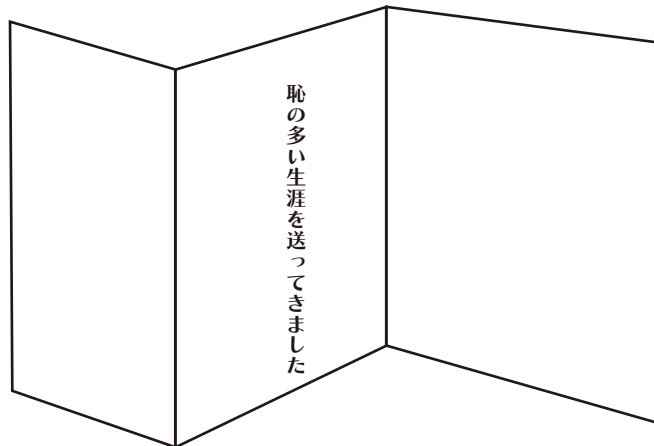
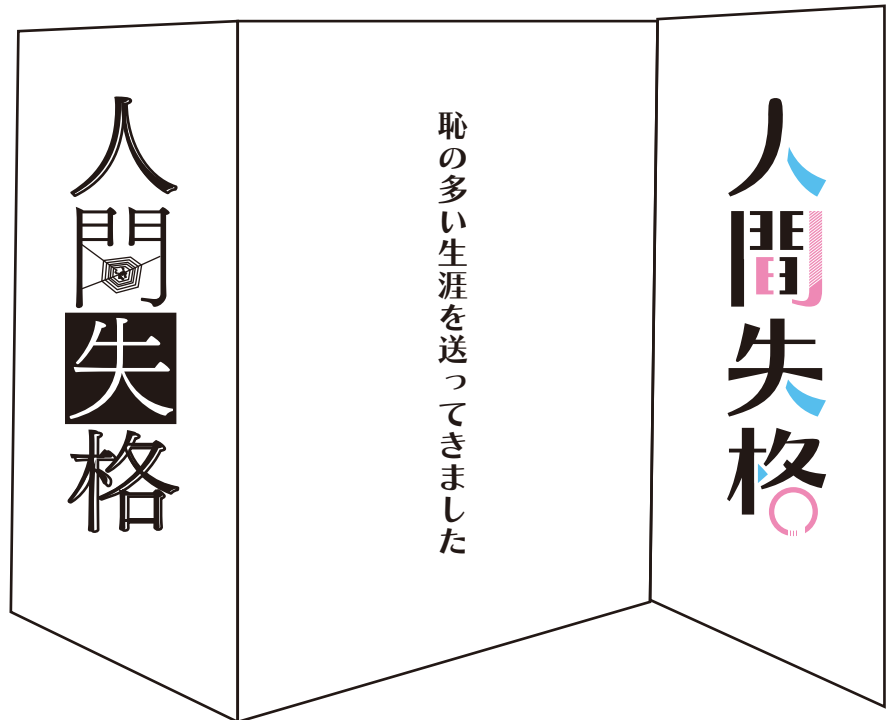
『紙媒体で本を読んでもらいたいし、本のタイトルと表紙で全然違う表現になる! さらに言えばそのタイトルの文字でワクワクして欲しい!』というコンセプトのもと感性を刺激するものを制作したいと考えることに行き着きました。

もう一度
考え直すことに…

○SDGsの関連性



ちなみにSDGsはこれが一番当てはまるので選びました。



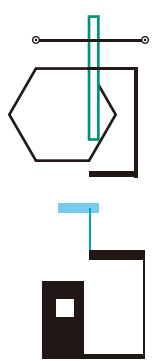
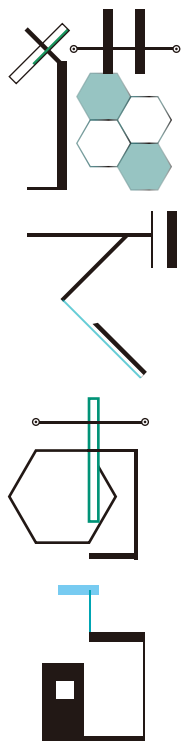
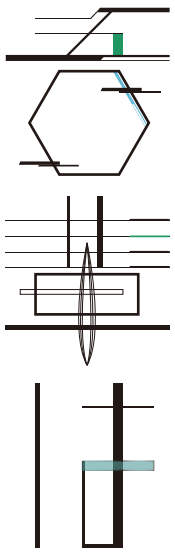
- 内容の一部を引用して、興味と感じ方が違うようにしたい
- 4つ折りリーフレットで頒布もできる
- 展示物は立体物を使用したい
- 裏には別の作品タイトル

人
間
失
格

恥の多い生涯を送って来ました。

人間失格

恥の多い生涯を送って来ました。



吾輩は猫である。名前はまだ無い。

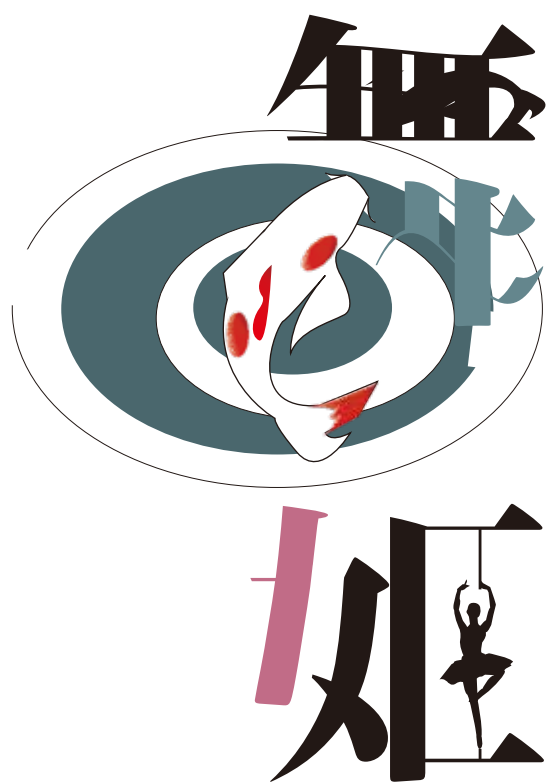
五
輩
車
は
猫
は
で
あ
る



Two small orange paw prints are located to the left of the character '猫'. Another two small orange paw prints are located above the character 'で'.

吾輩は猫である。名前はまだ無い。

仏界、入り易く、
魔界、入り難し



まい
い
ひ
め

舞姫

仏界、入り易く、魔界、入り難し

羅維生門

○

本当のことを言わねえのが人間だ。

羅生門

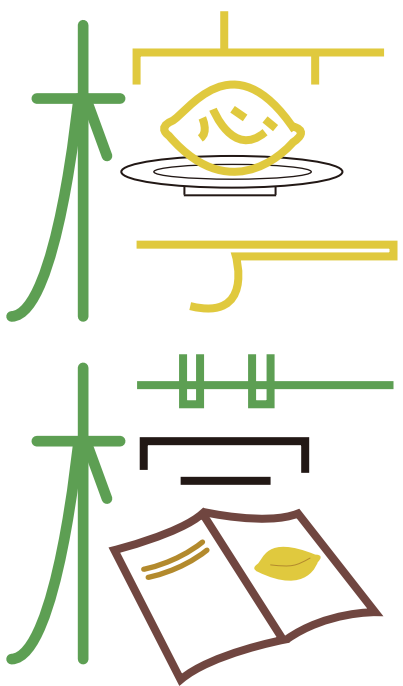
本当のことを言わねえのが人間だ。

魔術師

魔術には魔術をもって

魔術には魔術をもって

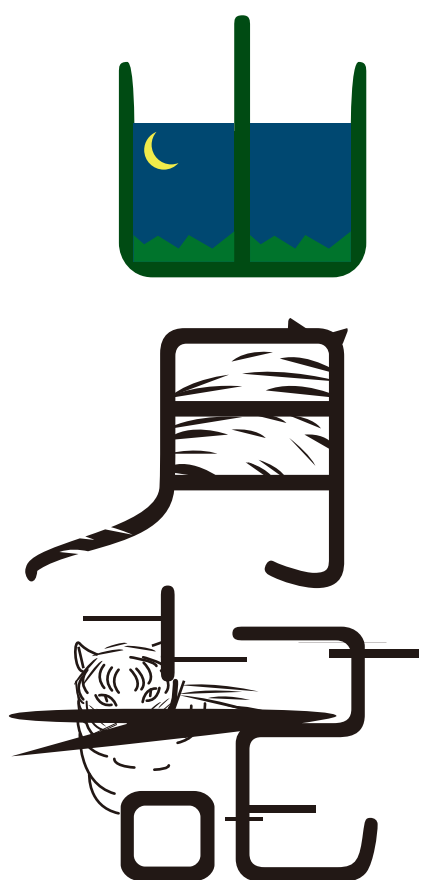




—つまりはこの重さなんだな。—

檉
檉

—つまりはこの重さなんだな。—



その声は、我が友、李徴子ではないか？

山 に 記

その声は、
我が友、
李徴子ではないか？

ごん、お前だったのか。



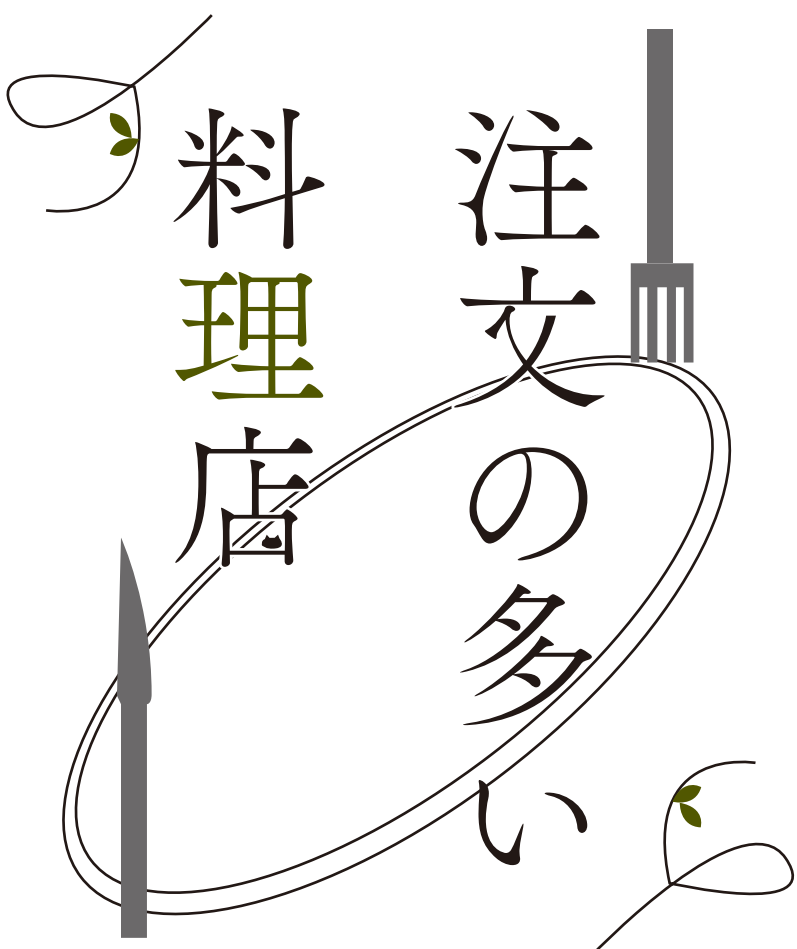
ごん、
お前だったのか。

絵本
ごんが



注文の多い
料理店
tyūmonnōiryōriten

どなたもどうかお入りください。
決してご遠慮はありません。



どなたもどうかお入りください。
決してご遠慮はありません。

高
補
泉

苦から救ってやろうと思って命を絶った。
それが罪であろうか。



苦から救ってやろうと思つて命を絶つた。
それが罪であろうか。